

令和3年度 事業報告書

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

令和3年度 事業報告書

【概要】

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発令される中での事業推進となりました。感染症の予防対策を徹底しながら、コロナによって進んだ地域のつながりの希薄化、閉じこもり、孤立化による不安感や寂しさを解消し、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、計画に定めた事業や活動に積極的に取り組んでまいりました。各事業とも、実施方法の工夫や見直しを行うとともに、市民の皆さんの協力や行政・関係機関等との連携のもと、概ね計画どおり事業を実施することができました。

事業計画に定めた3つの基本目標ごとに事業の成果について概要を説明します。

まず、「基本目標1 福祉の心を育てよう」では、10月17日に福祉大会を開催し、市民や福祉関係者多数の参加があり、記念講演や地域福祉活動を行っている地域の実践発表などにより地域福祉への関心を高めることが出来ました。また、社協だよりやFacebook、ホームページを活用し、本会の情報を市民に広く広報するとともに、事業ごとにその都度マスコミに情報発信し、本会への理解促進や福祉意識の啓発に努めてきました。

福祉教育の推進では、令和2年度にコロナ禍のため中止したボランティア体験事業は、施設受け入れ型の体験から郷土の偉人をテーマにするなど間接的なボランティア体験と研修という新たな視点で実施し、限られた人数の中ではありますが、参加者には貴重な体験になりました。また、小学生向けの福祉教育“ちょボラ”は、Zoom等を活用しての学校との連携や実施期間の任意設定などにより、全校で取組が進み、福祉意識に対する気づきが図られたものと考えています。

専門ボランティアの養成では、災害ボランティア養成講座や傾聴ボランティア養成講座を開催し、新規にボランティア登録をしていただきました。令和2年度に中止した手話講座は、令和3年度もコロナ禍で延期などが度々ありましたが、会場や日程変更など行いながら予定どおり実施することができました。

次に「基本目標2 ともに支えあおう」では、各サロンと密接に連絡を取りながらサロン事業の継続を促すとともに、新規サロンの立ち上げに向けての支援やガイドブックの作成、サロン研修会の開催等を通じて地域でのつながり作りを推進してきました。

地域に定着してきた福祉委員への役割周知や地区民生委員との連携強化のために開催していた福祉連絡会が、コロナ禍で延期や中止となったため、役割周知の新たなパンフレットや説明資料を作成するなど、地域の状況に合わせて福祉委員の活動支援を行ってまいりました。また、地区社協の活動や友愛訪問なども、関係者の様々な工夫により実施され、高齢者の不安感の軽減や住民同士の交流の機会の確保など地域福祉の推進が図られました。

地域での支え合いの推進では、“笑顔”結びプロジェクト第3弾として川柳コンテストを実施し、見守り・支え合い活動の普及啓発を図るとともに、生活支援コーディネーターや地域担当職員を中心にアウトリーチを徹底しながら、小地域ケア会議や各種研修会等を通じて地域の皆さんや行政・関係機関等と協働して地域福祉課題の把握やその解決に向けて支援を行い、5地区において地域運営組織が設立されました。

地域活動担い手養成を目的に4回の開催を計画していた無理しない地域づくり講座は、コロナ禍のため次年度に向けてのプレ講座として3月に開催しました。

次に「基本目標3 福祉環境の充実を図ろう」では、新見市成年後見相談センターを中核機関として位置づけ、成年後見制度の普及啓発、利用促進や後見人支援などの機能の充実にも努めるとともに、家庭裁判所や行政など関係機関との連携強化を図ってまいりました。また、12月には権利擁護推進セミナーを開催するとともに、中止していたなんでも相談会を2回開催することができました。法人後見事業では、受任者数が急激に増加しているところですが、適正に後見業務が行われるよう努めてまいりました。

新見市生活相談支援センターでは、新たに中央共同募金会のフードバンク活動等応援助成を受けて、12月に歳末心配ごと相談会と地域食堂(ぴおーら食堂)・ぴおーらBOXに取り組むとともに、6月と11月をフードドライブ強化月間として食品等の寄付を募り、生活困窮者や新見公立大学生などに食糧や

日用品の支援を行いました。また、新型コロナウイルスによる休業や失業による生活資金に困った方への生活福祉資金の特例貸し付けの窓口として、延べ200件あまりの相談を受け、そのほとんどが貸し付けの対象となりました。

9月から新規に隔月開催したピオーラカフェ（認知症カフェ）は、参加者にとって気軽に交流でき、認知症について理解することができる場となりました。

また、社会福祉法人連絡協議会では、全戸に対して法人連協だよりを配布し、組織や公益的な取組などについて周知するとともに、フードドライブ事業、職員研修会開催など、制度の狭間の方への支援などに取り組んでまいりました。

3つの基本目標に加え本会が実施している介護保険事業については、新型コロナのため、5月には本所事業所で3日、神郷支所事業所で2日の営業休止や感染予防のための利用自粛なども有り、大変厳しい状況となりましたが、より一層、利用者の立場に立った安全で質の高いサービスの提供に努めるとともに、国の処遇改善支援補助金の活用などにより、介護職員の処遇改善にも取り組んでまいりました。

法人運営では、組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の確保、コンプライアンスの徹底に努めるとともに、行政とのパートナーシップの強化も図ってまいりました。また、引き続き、事業の効率化、収入の確保、経費削減等に取り組んでまいりました。

各事業の実施状況については次のとおりです。

法人運営事業

【理事会】

	開催期日	出席者数	主 な 議 案
1回	令和3年6月9日	理事9人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告・決算 ・資金収支補正予算（第1号） ・規程の一部改正（7規程） ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の委員の選任 ・定時評議員会の開催 ・（報告）会長・常務理事職務執行状況 ・（報告）介護職員処遇改善計画
2回	令和3年6月24日	理事9人 監事1人	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長及び常務理事の選定 ・苦情解決第三者委員の選任
3回	令和3年12月14日	理事10人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支補正予算（第2号） ・評議員会の開催 ・（報告）会長及び常務理事の職務の執行状況 ・（報告）介護保険事業所実地指導の結果 ・（報告）社会福祉法人指導監査の結果 ・（報告）予備費の充当
4回	令和4年3月4日 （書面決議）	理事10人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ・規程の一部改正（3規程） ・介護職員処遇改善計画の変更
5回	令和4年3月16日	理事9人 監事1人	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支補正予算（第3号） ・規程の一部改正（1規程） ・規程の制定（1規程） ・規程の全部改正（1規程） ・令和4年度事業計画・資金収支予算 ・評議員会の開催 ・（報告）日常生活自立支援事業実施状況調査の結果 ・（報告）事業評価委員会の結果

【 評議員会 】

	開催期日	出席者数 (評議員)	主 な 議 案
1回	令和3年6月24日	20人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告・決算 ・資金収支補正予算（第1号） ・理事及び監事の選任
2回	令和3年12月21日	17人	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支補正予算（第2号）
3回	令和4年3月24日	18人	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支補正予算（第3号） ・令和4年度事業計画・資金収支予算 ・（報告）事業評価委員会の結果

【 各種委員会 】

地域福祉活動基金運営委員会		設 置 平成17年10月1日
委員構成（6人）	◇社協理事5人 ◇行政関係者1人	
内 容	◇地域福祉活動基金の管理運営及び基金による事業の実施についての審議を行う。	
開催状況	期 日：令和3年12月14日 6人出席 協議内容：委員長及び副委員長の選任について 基金の運用状況について 今後の基金の運用について 基金利息の活用について	

評議員選任・解任委員会		設 置 平成29年3月29日
委員構成（5人）	◇外部委員5人	
内 容	◇評議員の選任・解任の審議を行う。	
開催状況	期 日：令和3年6月15日 5人出席 協議内容：評議員（20人）の選任について 委員長の選任について	

事業評価委員会		設 置 平成23年12月22日
委員構成（6人）	◇社協理事3人 ◇社協評議員1人 ◇社協監事1人 ◇行政関係者1人	
内 容	◇事業の進捗状況を把握し、評価を行う。	
開催状況	期 日：令和4年2月25日 5人出席 協議内容：令和3年度の事業評価（33事業）について	

【 寄附金 】

内 訳	令和3年度		令和2年度	
	件数（件）	寄附額（円）	件数（件）	寄附額（円）
香典返し寄附金	181	3,815,000	157	3,930,000
退院内祝い寄附金	1	5,000	6	70,000
一般寄附・その他	12	369,016	9	354,587
合 計	194	4,189,016	172	4,354,587

【 会員会費 】

◇地域住民、団体等が会員となり、福祉意識の高揚と住民主体の活動推進を図ることを目的とする。

会員の種類	令和3年度		令和2年度	
	会員数(口)	納入額(円)	会員数(口)	納入額(円)
普通会員	7,668	7,412,000	7,942	7,571,500
賛助会員	48	144,000	50	150,000
特別会員	238	1,185,000	238	1,190,000
計	7,954	8,741,000	8,230	8,911,500

普通会員の加入状況	令和3年度	令和2年度
依頼世帯	9,485世帯	9,582世帯
加入世帯	7,668世帯	7,942世帯
加入率	80.8%	82.9%

【基金運営事業】

(令和3年度 地域福祉活動基金運用実績)

収入内訳	利息等	備考
国債利息	300,000円	額面1億円
定期預金	25,000円	額面1億円(2口、途中1口を国債に変更)
国債取得に係る差益	665,925円	額面5千万円
基金運用益合計	990,925円	

(支出項目) 福祉委員設置活動推進、心配ごと相談、友愛訪問事業に充当。

【新見市地域福祉センター貸館事業】

利用件数	170件
利用料合計	343,420円

【福祉用具貸出事業】

車いす貸出件数	27件
電動ベッド貸出件数	4件

【役職員研修】

期日	内容	参加者
役員研修 令和3年12月14日	<ul style="list-style-type: none"> 地域共生社会の実現に向けた国の動向 社会福祉協議会に期待される役割 	12人
職員研修 令和4年3月8日 令和4年3月11日	<ul style="list-style-type: none"> 地域共生社会における社会福祉法人の責務と社会福祉法人等による地域公益活動の意義 地域の福祉課題と新見市生活相談支援センターの取組 	44人

地域福祉事業

1. 福祉の心を育てよう

事業名	内容	備考(期日・場所等)
福祉大会	<ul style="list-style-type: none"> ◇笑顔を結ぶ川柳コンテスト表彰 ◇支えあい活動の取組発表 <ul style="list-style-type: none"> ・正田地区福祉ネットワーク 「弁当配達見守り事業」 ・熊野の将来を考える会 「助け合い事業」 ◇記念講演： <ul style="list-style-type: none"> ・講師 気象予報士 中島 望 氏 「豪雨災害から身を守る地域の絆」 	10/17 まなび広場にいみ大ホール ・参加者 230人 ・川柳コンテスト応募総数 97点（最優秀賞 1点、優秀賞 1点、佳作 10点、ピオーラ賞 1点）
福祉情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ◇公式 Facebook での情報発信 ◇社協だよりの作成・発送 ◇ホームページでの情報発信 	随時投稿 年 6 回（奇数月） 随時更新
社協会員の加入促進	◇普通会員・賛助会員・特別会員の募集	7月から依頼
赤い羽根 共同募金運動	◇戸別募金・職域募金・学校募金等	10/1～12/31
	◇街頭募金	10/1 サンパーク新見、にいみプラザ 10/15・16 A コープあしん駐車場
	◇大口募金の推進	社協役員・評議員で全域において普及推進
	◇広報・啓発 「共同募金研修会」実施	7/28 新見市共同募金委員会委員・本会役員等 22名
赤い羽根 共同募金 配分金事業	<ul style="list-style-type: none"> ◇一般配分金 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動推進、福祉教育推進 ・研修、子育て支援、給食サービス、 団体活動助成の各事業に充当 	
歳末 たすけあい 募金運動	◇戸別募金	12/1～12/31
歳末 たすけあい 配分金事業	<ul style="list-style-type: none"> ◇歳末たすけあい訪問 <ul style="list-style-type: none"> ①満 80 歳以上の高齢者のみの世帯 ②重度心身障がい者 ③準要保護児童・生徒のいる世帯 ④75～79 歳のひとり暮らし高齢者 ⑤生活に困窮している世帯 ※②④⑤は市県民税非課税者 ◇学校等への図書カード配布 	1,302 世帯 ① 1,213 世帯 ② 23 世帯 ③ 50 世帯 ④ 15 世帯 ⑤ 1 世帯 認定こども園、保育所、小中学校等 38校
	<ul style="list-style-type: none"> ◇小学生ちょボラ実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ちょボラノートによる活動実施 ・事前の説明会 ◇活動報告書（ちょボラだよりの作成・配布、参加賞マスクの配布 	10～12月の間の2週間の取組期間 508人中481人実践 継続取組校17校 希望された2校で実施（内1校ZOOM） 各小学校
夏のボランティア体験 （※第26回）	◇新型コロナウイルス感染症対策のため従来の施設でのボランティア体験を中止し、少人数（30名）にて実施	7/10 新見市地域福祉センター 参加者 30名

	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの意義、山室軍平と社会鍋についての講義 ・デイサービス（中央・神郷）利用者へ、メッセージ作り ・2グループに分かれ「社会鍋作り」と「ひのきの積み木づくり」を実施。 ◇活動報告書（夏ボラ新聞）の作成・配布	7/20 新見南認定こども園へ木のおもちゃを寄贈 7/31 サンパーク新見にて有志4名で街頭募金を実施 各中学校・高校
出前福祉教室	◇出前福祉教室 <ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに応じた講座を実施 ・高齢者疑似体験、車いす体験、共同募金、権利擁護、認知症理解等 	実施件数9件 （内訳：小中学校4件、一般5件） 小中学校：新見南小（高齢者疑似体験）、矢神小（車いす体験、高齢者疑似体験）、新見南中（車いす体験） 一般：新見ロータリークラブ（あなたのまちの社協、災害V0の心構えや基本的知識）、大佐民協（権利擁護）、千屋民協（権利擁護）、神郷民協（権利擁護）
災害ボランティア推進事業	◇災害ボランティア養成講座（基礎編） <ul style="list-style-type: none"> ・災害V0や災害VCについての基本的な知識を学ぶ ・災害ボランティア登録の説明 ◇災害にも強い地域づくりワークショップ in 唐松 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年豪雨災害をふりかえり、地域に必要な資源や取組を考える ・災害VCのセンターを唐松に設置した場合に地域で協力できることを考える 	7/28 新見市地域福祉センター 参加者 11名 11/6 唐松公民館 ※唐松まちづくり協議会との共催 参加者 33名 （内訳：唐松まち協23名、講師・社協職員等10名） 災害ボランティア登録者：51名
傾聴ボランティア推進事業	◇傾聴ボランティア訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・4件、延べ19回訪問 ◇傾聴ボランティア養成講座 講師：NPO法人マザーリーフ 理事長 藤恵子氏	個人宅 活動ボランティア数4名 11/19 参加者24名 新規ボランティア登録者：8名 傾聴ボランティア登録者数：18名
手話講座（受託事業）	◇手話奉仕員養成講座（入門課程） 実施回数 14回（18講座） 受講者数 14名	※緊急事態宣言により開始時期を5/16から7/4に変更し実施 ※緊急事態宣言により8/29～9/12の講座を中止し、日程変更を行って実施
ボランティア・NPO団体連携事業	◇ボランティア・NPO団体の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・団体の把握内容等の検討 ・市内の既存団体の情報収集 	検討会 4/15、9/15、12/22、1/11

2. ともに支えあおう

事業名	内容	備考(期日・場所等)
ふれあい いきいきサロン (受託事業)	◇各地区でふれあいいきいきサロン実施:68 サロン(新見 46 サロン、大佐 7 サロン、神郷 6 サロン、哲多 6 サロン、哲西 3 サロン)	活動場所 公民館・集会所等 開催回数 延べ 399 回 参加者 延べ 3,999 人(うち 20 歳未満 8 人)
	◇コロナにより休会・未実施 3 サロン ◇自主サロンとして実施 7 サロン	
	◇ふれあいいきいきサロン研修会 ・市内全域のサロンやカフェを対象 ・事業説明、サロンの役割と意義について新見公立大学の山本教授による講演、健康運動指導士の藤本先生による体操実施。	2/2 まなび広場にいみ小ホール 参加者 59 人(サロン 52 人、ひだまりサロン 3 人、一般参加 4 人)
	◇げんき広場インストラクター派遣	公民館・集会所等 39 か所
	◇活動拠点整備費事業 ・1カ所に助成	一次募集 備品整備費 1 サロン 二次募集 0 サロン
	◇活動・立上げ推進(随時) ◇ふれあいいきいきサロンガイドブックを作成・配布 ◇新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組、予防啓発チラシの作成・配布、除菌ウェットティッシュ等の配布	各サロン
ひだまりサロン	◇ひだまりサロン実施 3 サロン	活動場所 ほほえみ広場ほか 開催回数 延べ 18 回、参加者 延べ 85 人
子育て 支援事業	◇子育てカレッジ事務局会議・運営協議会等に参加	子育てカレッジ事務局会議 12 回参加 子育てカレッジ運営委員会 3 回参加
	◇地域子育て支援者研修会	子育て支援者研修会 2 回参加
	◇子どもがつなぐ地域の和事業	実施希望地区なし
福祉委員設置 活動支援	◇福祉委員の設置(委嘱状交付)	744 地区 845 人に委嘱
	◇第 1 回 福祉連絡会(全地区対象) ・福祉委員の役割説明等	市内 25 会場 参加者延べ 568 人
	◇第 2 回 福祉連絡会(全地区対象) ・地域課題について	市内 14 会場 参加者延べ 333 人
独居高齢者宅 戸別訪問事業 (受託事業)	◇80 歳以上独居高齢者世帯訪問 支所別実績(月平均) 本所 324 人、大佐 24 人、神郷 37 人 哲多 42 人、哲西 34 人	訪問回数延べ 5,530 回 介護保険サービスを利用していない方が対象
友愛訪問事業	◇75 歳以上ひとり暮らし高齢者世帯・80 歳以上高齢者のみの世帯を対象に実施(地区別)新見 1,191 人 3,572 回 大佐 149 人 447 回、神郷 126 人 379 回 哲多 142 人 426 回、哲西 152 人 456 回	各地区年 3 回実施 訪問回数延べ 5,280 回
	◇友愛訪問事業説明会(2 回実施)	8/6 新見・哲多(新見会場)、神郷・哲西(神郷会場:オンライン)、8/11 大佐会場
	◇友愛訪問事業対象者の見直し検討	内部検討会議 9 回 事業評価委員会協議

地域ささえあい 推進事業(市受 託事業) (担当職員数) ・1層 2名 ・2層 4名	◇小地域ケア会議の開催 ・全 39 地区中 34 地区設置	17 地区で実施 開催回数延べ 27 回、参加者延べ 610 人
	◇地域資源の把握・整理 ・生活支援サービスの把握 「にいま暮らしを支えるサービス一覧表」の作成 ・福祉連絡会、小地域ケア会議においてニーズ把握 ・小地域での取組紹介 「地域活動コレクション ver.3」の作成	社協・市ホームページに掲載 各種会議・研修会などで配布、更新 1 回
	◇サービスの開発・マッチング ・小地域ケア会議(第 2 層協議体)において課題解決に向けての協議の実施 全 39 地区中 17 地区で実施 ・ニーズ把握(アンケート) ・見守り訪問活動 ・支え合い活動 ・基盤組織づくり ・集いの場づくり ・支え合い活動推進、地域課題に基づく研修 ・広報活動 ◇その他 ・笑顔結びプロジェクト“川柳コンテスト”	開催回数延べ 27 回、参加者延べ 610 人 3 地区(石蟹、上刑部、布瀬) 2 地区(上市、思誠) 4 地区(正田、蚊家、熊野、豊永) 10 地区(福本、菅生、下熊谷、草間、土橋、豊永、刑部、上刑部、蚊家、哲西) 2 地区(上熊谷、神郷南) 2 地区(神郷北、哲西) 1 地区(神郷南)かわら版作成 97 作品応募。応募作品は福祉大会会場で披露、入賞者は福祉大会にて表彰
	◇関係者のネットワーク化 ・第 2 層 SC 新任訪問研修 ・生活支援コーディネーター情報交換会 ・第 2 層 SC 訪問 ・小地域ケア会議職員向け研修 ・社協第 1、2 層生活支援コーディネーター情報交換会 ・新見市地域ケア個別会議への参画	6/1、6/10 計 5 か所訪問 10/7 地域福祉センター 21 名参加 11/24、11/25、12/1 計 4 か所訪問 12/23 新見市役所南庁舎 大会議室 参加者 50 名 5/13、6/9、6/24、9/17、11/8、11/16、12/21、1/14、2/21 9 回 参加者延べ 55 人 6/17、8/19、9/30、10/21、12/16、2/17
地区社会福祉 協議会の支援	◇地区社協の支援 ◇地区社協への情報提供	地区担当による支援 「新しい生活様式を踏まえた地域福祉活動について」作成、配付
	◇小地域福祉活動計画策定支援 ・アンケート結果に基づく計画策定に向けてのワークショップの支援 【豊永地区】 【刑部地区】 ◇地域運営組織設立に向けての協議(福祉部設置による組織強化)	11/26 豊永公民館 参加者 81 人 11/27 おおさ総合センター 参加者 49 名 6 地区(豊永、上刑部、刑部、布瀬、蚊家、八鳥・大野部)

無理しない地域づくり講座	地域活動の担い手や協力者を増やすために、無理なく楽しく取り組むきっかけづくりを行う講座のプレ講座を実施 講師 (有)エコカレッジ 代表取締役 尾野寛明氏	3/12 地域福祉センター 受講者 13 名
--------------	--	---------------------------

3. 福祉環境の充実に因らう

事業名	内容	備考(期日・場所等)
なんでも相談会	◇弁護士、司法書士等多職種による無料相談会	6/26 相談件数 25 件 3/ 5 相談件数 20 件
心配ごと相談	◇民生委員児童委員による相談 ・毎月第1・3水曜日 年 22 回 (うち感染症対策のため 6 回中止) ◇よろず相談：随時相談受付	地域福祉センター他 相談件数延べ 8 件 相談件数 181 件
法律相談 (受託事業)	◇弁護士による専門相談 ・毎月第 3 水曜日	新見市地域福祉センター 相談件数延べ 79 件
生活困窮者自立支援事業 家計改善支援事業 (受託事業)	◇生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談支援 ・新規相談受付件数 57 件 ・家計相談支援プラン策定者 2 人 ◇緊急支援 ◇フードドライブ事業の実施 ◇生活相談支援関係機関実務者連絡会議1回実施 ◇支えあいの地域づくり研修会 ：講師 NPO フードバンク岡山 糸山 智栄 氏 「もったいない」を「ありがとう」へ ～食べ物がつなぐ地域～ ◇「歳末心配ごと相談会」の実施 ・心配ごと相談会 ・ぴおーら食堂 ・ぴおーら BOX 配布 ◇新見公立大学生への食糧・日用品配布 市内高校へ生理用品配布 ◇取組紹介 DVD の作成と、出前講座の実施 ◇家計改善に関する職員研修	延べ支援回数 689 回 延べ 20 人に支援を実施 254 人から 4,240 点の寄付 12/2 第1回連絡会 12 人参加 6/22(市民児協共催)参加者 99 人 12/18 中央共同募金会より 79 万円助成 相談件数延べ 12 件 利用者延べ 93 人 準要保護児童のいる世帯のうち希望者 29 世帯 6/9,16,12/21 延べ 470 人 市内3校へ配布 市内各団体を対象として実施 2/1 地域福祉センター (SONY 生命ライフプランナー前橋秀胤氏)
法人後見・権利擁護推進事業	◇法人後見事業 ・検討会議(関係機関・内部) ・法人後見運営委員会 ・法人後見事業受任 22 件 (内1件は終了) ◇成年後見制度利用相談 ・相談件数延 50 件 ・法人後見等移行支援 5 件	7 回開催 3 回開催 専門職との複数後見 4 件、社協単独後見 18 件 (内1件終了)合計 22 件 ※新見市成年後見相談センター

	<p>◇成年後見制度・権利擁護の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいみ権利擁護推進セミナー 講師 岡山パブリック法律事務所 副所長 尾崎 力弥 氏 「成年後見制度の概要と 後見支援の実際」 ・成年後見制度に関する DVD 作成 ・なんでも相談会 ・出前講座 千屋地区民協 神郷地区民協 ・成年後見制度チラシの作成配布 ・社協だより掲載 <p>◇中核機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護委員会 ・新見市権利擁護協議会 ・市役所関係部署との協議 ・法人内協議 	<p>12/11 まなび広場小ホール 参加者 110 人</p> <p>6/26 相談件数 25 件、3/5 相談件数 20 件</p> <p>1/12 参加者 6 人 1/18 参加者 15 人</p> <p>年 3 回掲載</p> <p>10/19、11/9、12/14、1/11、3/8 出席 3/14 出席 5 回 2 回</p>
<p>日常生活 自立支援事業 (受託事業)</p>	<p>◇判断能力が不十分な方の書類手続及び金銭管理支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員(活動)9人(登録)2人 ・相談件数 113 件、支援回数 375 回 	<p>(利用者の内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者 5 人 ・知的障がい者 13 人 ・精神障がい者 6 人 <p>(継続利用者19人 新規5人 解約者2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月末現在利用者数 22人
<p>生活福祉資金 貸付事業 (受託事業)</p>	<p>◇低所得・障がい者世帯等への資金貸付により、世帯の自立を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 5 件 <p>◇新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により減収した方を対象とした貸付相談</p>	<p>(相談の内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合支援資金 生活支援費 4 件 住居入居費 1 件 ・緊急小口資金特例貸付 34 件 ・総合支援資金特例貸付 33 件 ・総合支援資金特例貸付(延長)12 件 ・総合支援資金特例貸付(再貸付)25 件 ・不承認 5 件 ・特例貸付相談のみ 2 件
<p>家族介護者の 集い・くつろぎの 家</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 警察署講話(交通安全・振り込め詐欺等) 押し花タイル壁掛け ・第2回 介護実習 筆ペンで書く来年の干支 ・第3回 コロナのため中止 ・各回とも、要介護家族一時預かり所「くつろぎの家」を併せて開催 	<p>7/17 地域福祉センター 参加者 14 人 くつろぎの家 参加者 5 人</p> <p>11/6 地域福祉センター 参加者 14 人 くつろぎの家 参加者 7 人</p>
<p>ピオーラカフェ</p>	<p>9 月から新規に開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 認知症地域支援員による講話 介護護予防体操 ・第2回 管理栄養士による講話 笑いヨガ ・第3回 保健師による講話 DVD 鑑賞(権利擁護) 	<p>9/22 地域福祉センター 参加者28人</p> <p>11/24 地域福祉センター 参加者 25 人</p> <p>1/26 地域福祉センター 参加者 31 人</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回 作業療法士による講話 ・毎回、大学生ボランティアによる大学生企画コーナーを実施 	3/23 地域福祉センター 参加者 26人
福祉車両等貸出事業	<ul style="list-style-type: none"> ◇障害者移動支援事業(受託事業) ・障がいや傷病により、福祉車両が必要な方への貸出 43回 ◇ボランティア等車両貸出 ・地区社協等が行う買い物ツアー等、地域活動者等への車両貸出 29回 	

共同募金事業

【赤い羽根共同募金方法別実績】

募金方法	募金額	募金ボランティア数等
戸別募金	4,471,460円	895人
街頭募金	51,045円	29人
大口募金	1,051,500円	466人
紙箱募金	19,285円	10校 459人
職域募金	662,250円	573人
イベント募金	0円	
店頭募金	121,238円	50ヶ所
自動販売機募金	31,432円	4ヶ所
その他の募金	27,050円	
預金利息	16円	
合計	6,435,276円	

目標額	5,000,000円
実績額	6,435,276円
達成率	128.7%

【歳末たすけあい募金方法別実績】

募金方法	募金額	募金ボランティア数
戸別募金	4,280,550円	810人
その他の募金	36,103円	45件 7人
預金利息	円	
合計	4,316,653円	817人

【歳末たすけあい募金配分金事業】

○募金運動期間：12月1日～12月31日

○民生委員の協力を得て、下記対象者へ1世帯あたり3,000円の訪問金を配布した。

訪問対象者	件数	配分額
ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯	1,213	3,639,000円
重度心身障がい者のいる世帯	23	69,000円
準要保護児童生徒のいる世帯	50	150,000円
75～79歳ひとり暮らし高齢者	15	45,000円
生活に困窮している世帯	1	3,000円
合計	1,302	3,906,000円

○市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校へ図書カードを配布した。

	中学校	配分金額	小学校	配分金額	認定こども園 保育所等	配分金額
本所	2校 471人	50,000円	9校 738人	87,000円	10園 549人	70,000円
大佐	1校 57人	10,000円	1校 102人	15,000円	1園 48人	5,000円
神郷			2校 61人	8,000円	2園 30人	6,000円
哲多	1校 75人	10,000円	3校 135人	18,000円	2園 61人	13,000円
哲西	1校 51人	10,000円	2校 81人	13,000円	1園 47人	5,000円
計	5校 654人	80,000円	17校1,117人	141,000円	16園 735人	99,000円
配分合計					38校・園 2,506人	320,000円

介護保険事業

【 居宅介護支援事業 】

	延べ認定調査	延べ居宅サービス計画	延べ介護予防 居宅サービス計画
中央	58件	1,556件	106件
神郷	39件	948件	86件
計	97件	2,504件	192件

【 訪問介護事業 】

	訪問介護		総合事業訪問介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	38.8人	3,684回	31.5人	1,792回
神郷	18.6人	1,643回	16.5人	930回
計	57.4人	5,327回	48.0人	2,722回

【 通所介護事業 】

	通所介護		総合事業通所介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	54.5人	5,118回	28.8人	1,408回
神郷	41.2人	3,753回	11.3人	554回
計	95.7人	8,856回	40.1人	1,934回

【 訪問入浴介護事業 】

	訪問入浴介護		介護予防訪問入浴介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	9.4人	456回	0人	0回

障害福祉サービス事業

【 居宅介護事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	2.0人	98回
神郷	1.3人	66回
計	3.3人	164回

【 障害者デイサービス事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	1.0人	43回

【 移動支援事業（個別支援） 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	0人	0回

在宅福祉事業

【 障害児入浴サービス事業 】

○18歳未満の身体障がい児の入浴サービス

施設名	利用者数(月平均)	延べ利用回数
神郷ヘルプセンター	0人	0回

【 新見市社協高齢者等生活応援隊事業 】

○概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者等支援が必要な方に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	0人	0回
神郷ヘルプセンター	0人	0回
計	0人	0回

【 新見市産後ヘルパー訪問事業 】（受託事業）

○産後の体調不良により家事が困難な家庭等に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	1人	6回
神郷ヘルプセンター	1人	14回
計	2人	20回

【 子育て支援ヘルパー訪問事業 】（受託事業）

○児童の養育が困難で子育て支援が必要な家庭に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	0人	0回
神郷ヘルプセンター	0人	0回
計	0人	0回

団体活動支援

○各種機関との連絡調整、事業実施における支援を行い、団体の自立を推進した。

◇新見市老人クラブ連合会
◇新見市遺族連合会
◇新見市身体障害者福祉協会
◇新見市福祉ボランティアの会・神郷地域ボランティア協議会・哲西町ボランティア協議会

◇新見市社会福祉法人連絡協議会

新見市内の社会福祉法人10法人により新見市社会福祉法人連絡協議会を設立し、制度の狭間の課題などに連携して取り組む。

期 日	会 議 等	内 容
6/3	令和3年度総会（書面決議）	・事業報告・収支決算、事業計画・収支予算 ・役員改選
8/2	法人運営会議	・副委員長の選任 ・法人連協チラシの作成、研修会の開催について
8/3	生活困窮者支援会議	・フードドライブ事業について ・食の支援、地域食堂の共催等
8/3	災害支援会議	・備蓄品の調査と提供について ・その他の保有備品等の調査と活用について
10/28	第2回総会	フードドライブほか 全5議案について協議し承認
11月	フードドライブ活動 （新見市社協と共催）	11/1～11/30 フードドライブ強化月間 ※当協議会の実績 136人 540点
12/18	歳末心配ごと相談会・ぴおーら食堂 （新見市社協と共催）	9名参加（相談補助4名、食堂運営5名）
1月	法人連協だより発行	全戸配布
2/15	研修会	36名参加（会場出席19名、Zoom参加17名）
2/28	要望書提出	新見公立大学大学院健康科学研究科地域福祉学専攻 修士課程設置に関する要望書提出
その他	その他研修会等の共催及び参加	12/11にいみ権利擁護推進セミナーへの後援・参加

ボランティア保険加入促進

種 類	加入数	備 考
活 動 保 険	3, 9 5 9人	加入年度に適用される保険
行 事 用 保 険	6 4件	1行事のみに適用される保険

※上記のほか送迎サービス補償、福祉サービス総合補償などでボランティア活動を推進。

人材育成活動

大学・高等学校、一般のホームヘルパー、介護福祉士、社会福祉士等の実習生を受け入れ、同行訪問等現場実習の指導を実施。

- ・新見公立大学地域福祉学科3年生コミュニティ・ソーシャルワーク実習3名受入
前期 6/21～7/2 後期 7/9～7/30